

～しながわ歌留多～

㊦大崎地域 開発進む 副都心
㊦山手線 はじめの駅は 大崎駅

大崎駅周辺は東京都により副都心として位置づけられてから開発が進みました。特に現在シンクパークタワーのあたりはその昔に明電舎をはじめとした大小の工場が立ち並ぶ工場街で、昼間は人が行きかう姿もあまりみられないような町でした。当時を知る私にとっては、昔日の面影をさがすことも難しいほどでしたが、あまりの変貌ぶりにビックリを通り越して戸惑いをおぼえるほどです。南口に埼京線・りんかい線・湘南新宿ラインが発着するようになってから、駅舎も大きく立派になり、一日の乗降客も激増したようです。大崎地域は全く新しい街へ生まれ変わりました。

駅と言えば、大崎駅は明治34年2月25日、日本鉄道品川線の駅として開業しました。明治35年10月に開始し昭和55年10月に廃止するまで、長きにわたって貨物の取り扱い駅でもありました。山手線の所属となったのは明治42年です。また「大崎止まり」「大崎発」という車内アナウンスをお聞きになったことがありますか。山手線の起点は品川駅ですが、山手線の車庫は大崎駅南東にある「東京総合車両センター」がメインです。山手線29駅中初電の始発駅は2駅（大崎・池袋）です。大崎駅からは内回り外回りともに毎朝4時台に出発していきます。ほかに、山手線が今のような環状線になる以前に大崎駅が始発だったという説もあるようです。

当時の大崎駅



（編集委員 服部）



春一番が吹き始めるとともに、重大な総会が近づいています。一年間の総まとめなので、気持ちも引き締め、重責を担っていると感じる時期です。

さて、私が町会長に就任したのは、役員で手を挙げる人がいなく、私が地区委員をはじめ区と様々な面で携わっていた経緯で、会長に任命されました。その時の挨拶では、“わ”を大切にすることを掲げていました。その後、品川区でも「“わ”しながわ」のスローガンができて嬉しくなりました。

今年は、コロナ禍で予定の事業は軌道修正を余儀なくされましたが、役員一丸となってまちや地域を活気付け、疲れた人たちをはちきれんような笑顔と歓声に包まれたまちにするよう努力して参ります。

（上大崎一丁目愛誠会会長 近野 チカ子）

早いもので、私が西五反田六丁目の町会長を勤めさせて頂き、5年目を迎えようとしております。まさか、私自身が町会長になるとは夢々思ってもいない事でした。急なことで引継ぎもなく、はたして私に町会長が勤まるのか不安でしたが町会を運営して行くには、町会長がぐずぐずしている時間はありませんでした。役員皆様の応援や30年以上も私を支えてくださっている大先輩の助言を頂き、私なりに一歩一歩進んで行ければと覚悟を決めました。

町会活動で一番心がけている事は、会員皆様のご意見、ご要望を聞ける町会でありたいと思っております。また、いろいろな行事に参加していただけるように、役員一同知恵を出し合っています。

（西五反田六丁目町会会長 臼井 武子）

平成31年4月、前会長が体調を崩され入院。急遽私が会長を引き受けることになりました。分からないことが多い中で地域センターの方々には色々教えていただき感謝しています。何とか1年目を無事終了できる目途が立った頃から新型コロナウイルスの感染が拡大し始め、2年目はコロナの感染状況を見ながらの町会活動になり、会員の集まる行事は全て中止。「親睦」は町会活動で特に大切なことですが、感染防止のためには仕方ないと諦め、コロナ禍でも出来る活動として町内パトロールの回数を増やしました。コロナ終息後は「防犯・防災・親睦」に重点を置き、有事に助け合いが出来る“人と人の繋がり”を創り上げていけたら…と考えています。

（池田山町会会長 豊島 和子）



左 豊島会長
中 近野会長
右 臼井会長

編集後記

わが街もひとところより随分綺麗になってきました。それでも時折歩道や植込みなどにポイ捨てされたタバコの吸い殻や空き缶などを未だに見かけることがあります。

自分一人ぐらいと軽く捨てたものかもしれませんが、街を汚すことは良くないことだとわかっていると思います。残念ながらコロナの感染はなお止まらない日本ですが、これから訪れる人たちには“この街はとてもきれいだった”と記憶してもらいたいものです。

（編集長 久保田）

川柳・俳句

本当なの 昔のあなた ふさふさね

旗の台六丁目 松本 悦子

スマホ買い 苦勞の種が ひとつ増え

南品川六丁目 田中 邦彦

下戸ですと すぐにもばれる ことを言い

旗の台四丁目 泉 喜久雄

愛しいと 思うまもなく 反抗期

旗の台六丁目 野村 美恵子

東の間の 日差しに和む 梅見かな

西五反田三丁目 斎藤 みゆき

花爛漫 猫意愛想に 通り過ぎ

西五反田六丁目 久保田 公二

地域の方が協力し意見を出し合って「はなぐるま」を作成しております。ご意見・ご感想や投稿などお気軽にお寄せください。

編集委員も随時募集中です！ 一緒に紙面作りをしましょう。 大崎第一地域センター 電話3491-2000までご連絡ください。